

令和4年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	✓

活動団体名：富士市SDGs共想・共創プラットフォーム

活動地域：静岡県富士市

活動におけるテーマ

『官民連携パートナーシップによる

イノベーションの創出・地域力の結集・見える化』

# 活動団体および活動地域の紹介

## 静岡県富士市

富士山からの豊かな地下水等を利用して、古くから紙のまちとして発展し、田子の浦港の築造、東名高速道路の開通などを契機に、輸送機械、化学・薬品等の企業が進出し、県内有数の工業都市（ものづくりのまち）として発展してきました。

植物由来で環境にやさしく、紙・パルプ産業と関連の深い  
新素材「セルロースナノファイバー(CNF)」に着目

**新産業の創出・産業全体の活性化**

「富士市CNFプラットフォーム」設立（2019年11月）

「CNFでつながる」場・体制の構築

- CNFの用途開発を加速
- CNF関連産業の創出を図るための連携・ネットワーク構築

**植物由来素材×新素材＝環境と経済の両立  
新たな産業基盤の構築とライフスタイルの転換**

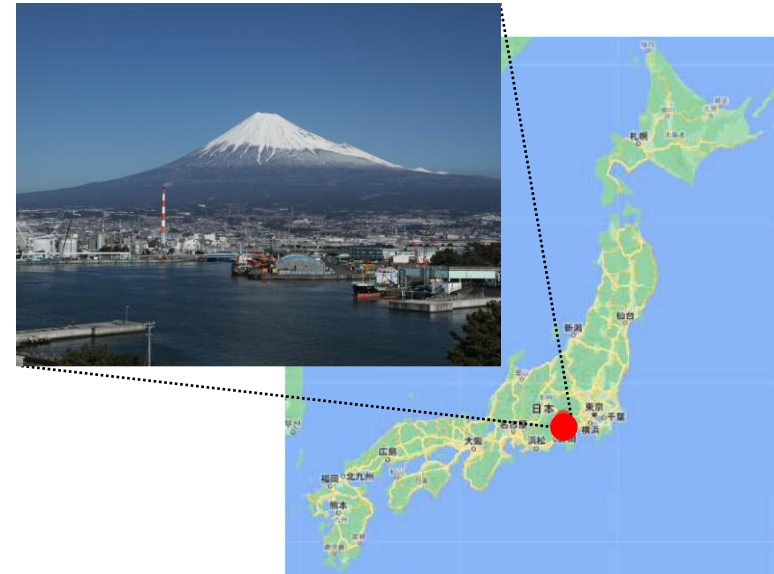
経済・産業分野に留まらず

- ✓ 多種多様な取組への展開
- ✓ 様々なステークホルダーの巻き込み

「富士市SDGs 共想・共創プラットフォーム」設立（2022年3月）

「富士市から世界を変える」取組の実現

- オール富士市でSDGsに取り組むパートナーシップ形成
- 富士市SDGs未来都市 行動宣言・推進企業等登録
- SDGsの達成に向けた取り組みからプロジェクトを創出



総人口 約25万人（県内第3位）

世帯 約10万世帯

- 東京まで約146km、京都まで約320km
- 日本で唯一、富士山と海があるまち
- 海拔0mから山頂を目指す「富士山登山ルート3776」
- 駿河湾の水深 約2,500m
- トイレットペーパー生産量 317,946t（全国比 34.7%）  
⇒パルプ・紙産業を基幹産業としたものづくりのまち

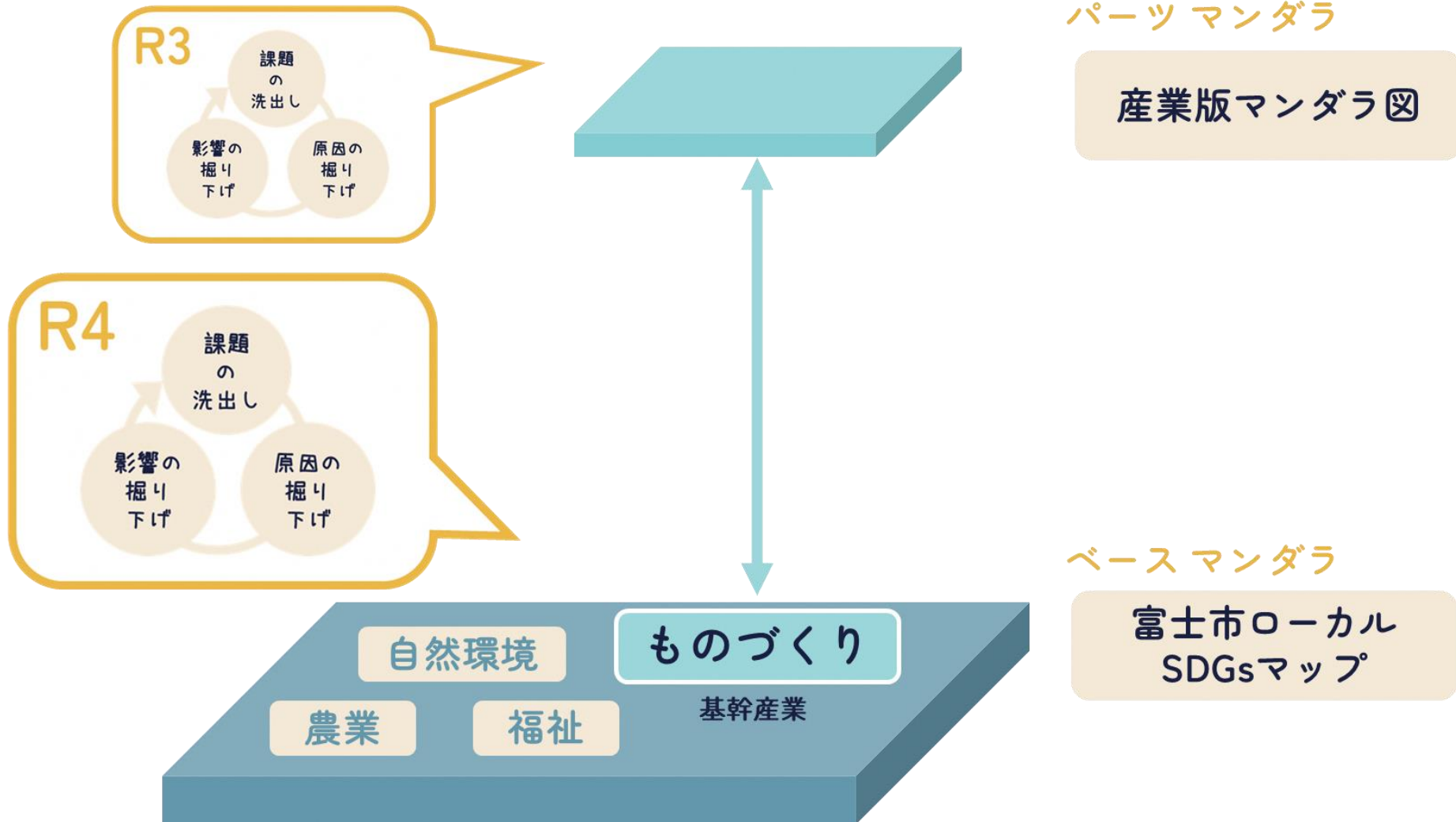
SDGsへの、はじまり  
富士市

<https://sdgs.fujicity.jp/>



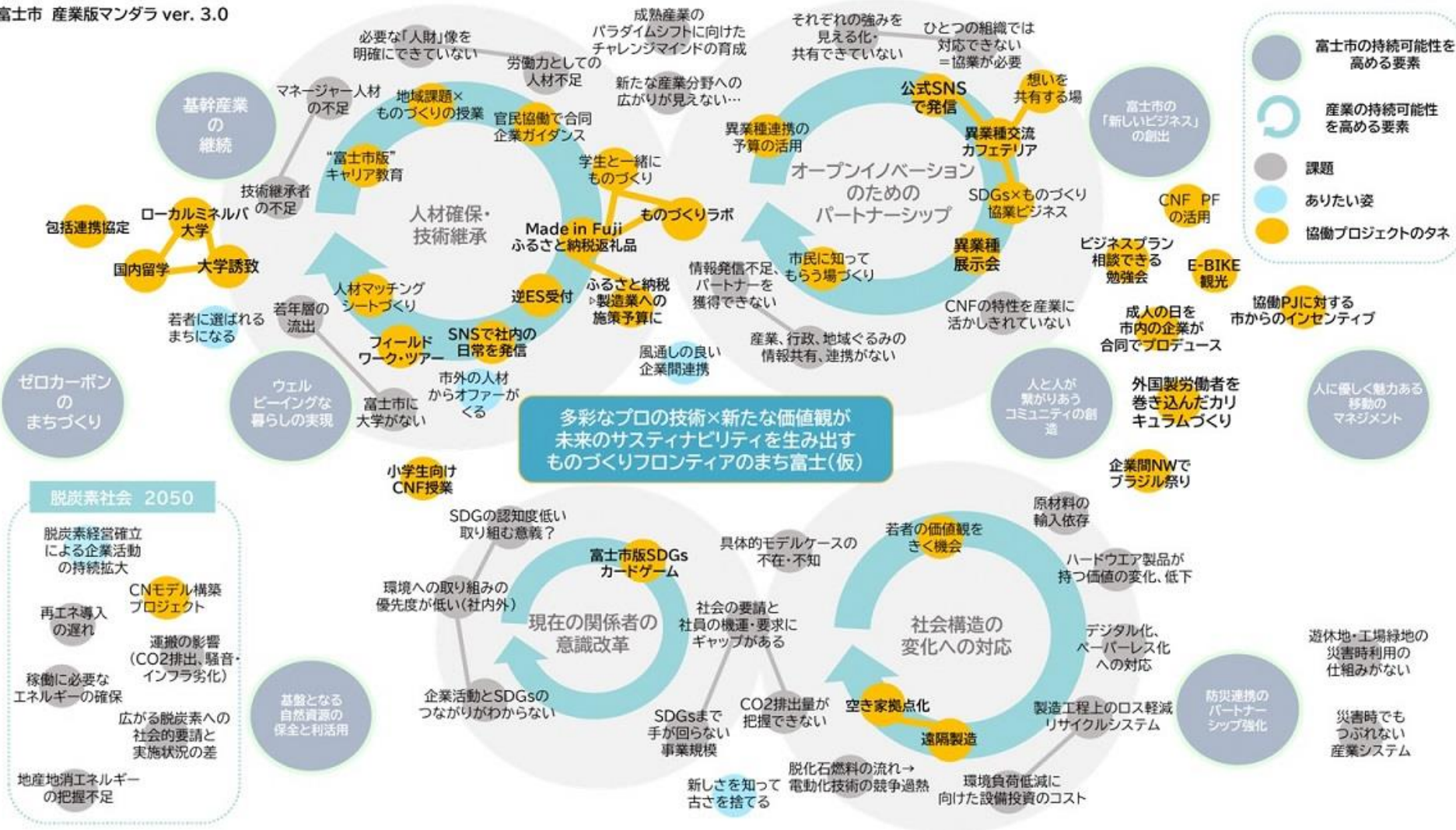
# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

## 富士市ローカルSDGsマップ<sup>®</sup>（マンダラ）の構成



# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

富士市 産業版マングラ ver. 3.0





# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

## 富士市ローカルSDGsマップ 2.0



# 地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング				関東ブロック中間共有会					全国成果共有会
実施したこと			第6回WS 事務局				第7回WS SH・ローカルSDGsMTG			第8回WS SH・ローカルSDGsMTG	第9回WS SH・ローカルSDGsMTG	
		★1		マンダラ作成・更新			★2		事業のタネ検討・企画			★3
		富士市産業版マンダラ1.0		富士市版マンダラ1.0 富士市版マンダラ1.5		富士市版マンダラ2.0		富士市産業版マンダラ2.0		富士市産業版マンダラ3.0		ものづくり力交流フェア実施

## 令和4年度のチャレンジ

### 1. 活動団体の変更・事業の発展的継続へ

活動団体：令和3年度は産業分野が主体となった「富士市CNFプラットフォーム」

→令和4年3月「富士市SDGs共想・共創プラットフォーム」設立…オール富士市でSDGsに取り組む

⇒ これまでの産業分野の取組を活かしつつ、富士市全体の資源、課題、ありたい姿等を見える化へ

### 2. 産業セクション以外の様々なステークホルダーの取り込み

10/18(火)ローカルSDGsミーティング 産業分野のSHが中心 → 環境・社会分野のSHを巻き込む

産業版マンダラ・富士市版マンダラを紹介…課題の深掘り・影響や解決策の議論を実施

⇒ 富士市版マンダラの整理とウェディングケーキモデルへのプロット (広がり・重層化)



### 3. 事業のタネ：「異業種・異分野連携」による令和3年度企画事業の実施と新規プロジェクトの創出

ものづくり企業は業界・縦割り体制 → 異分野・異業種連携によるプロジェクトの検討

①人材の確保・育成課題 … ものづくり企業によるキャリア教育事業の実施

②「異分野・異業種交流プロジェクト」の創出 … 自社・分野横断で事業のタネを企画

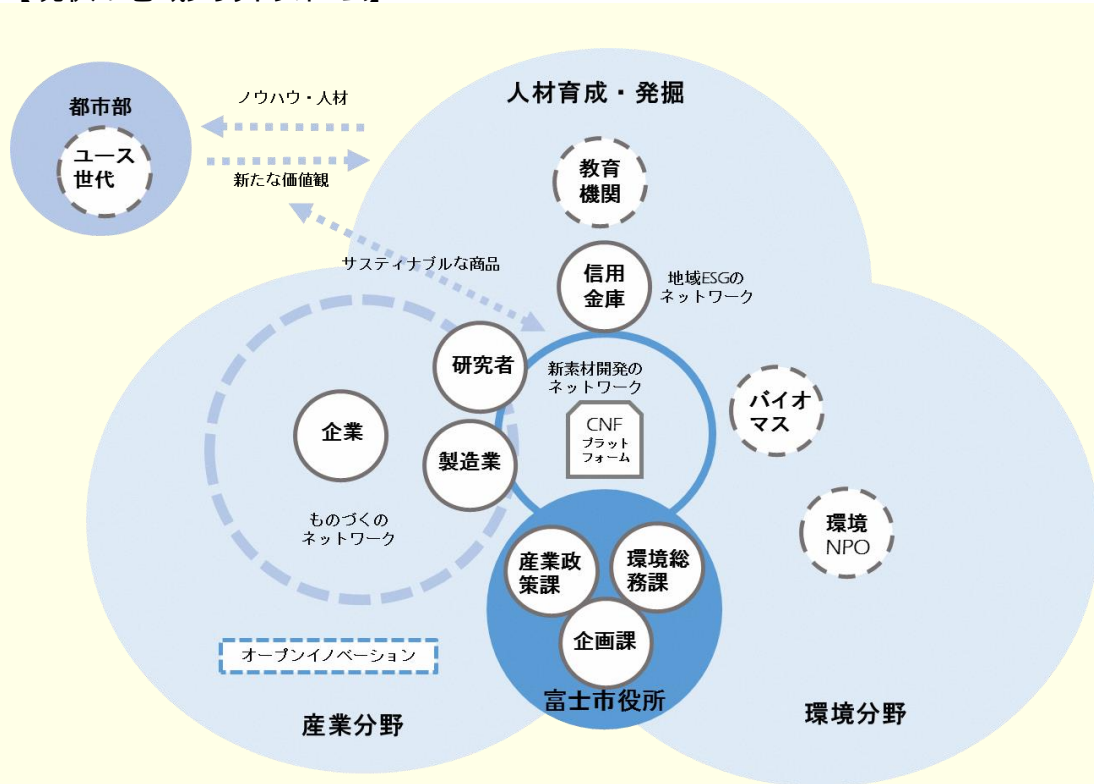
⇒ 地域として、富士市の持続可能性を高めるためのプロジェクトを連携して企画



ものづくり企業若手社員×学生  
ぶっちゃけキャリアトーク  
@ものづくり力交流フェア

# 現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

## 【現状の地域プラットフォーム】



富士市役所関係課を事務局に、富士市SDGsプラットフォーム「富士市SDGs未来都市推進企業等」を中心に体制を構築

### ※富士市SDGs未来都市推進企業等登録

SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体等が対象

自らの活動を製品、地域貢献、公正な事業慣行、組織体制などの点から42項目の自己チェックを行い、公表。市が認定

## 【地域プラットフォームの変化】

### ▶ 体制

- 産業分野のプラットフォームから、SDGsプラットフォームに広げたことにより、環境関連団体、金融機関等の幅広いステークホルダーの参画へ広がった。
- 事務局(行政)は、富士市ローカルSDGsの達成をフラッグシップとし、従来の縦割り体制を打破、横断的な体制を構築した。

### ▶ ネットワーク

様々な分野のステークホルダーが関わることで、分野や業界を超えたネットワークが構築された。

### ▶ コミュニケーション

自分や自社が知らない分野との関わりに対し、積極的な情報収集や、他社との繋がることの意味が醸成された。

# 取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

## 【成果】

### ▶ コアメンバー・ステークホルダーがコミュニケーションがとれる場の整備

異分野・異業種のステークホルダーが地域のありたい姿を議論する場を構築できた。

### ▶ 富士市SDGsローカルマップの共有

地域資源や課題、ありたい姿等を見える化し、共有することで、地域の持続可能性を高めるために、自社のみならず、面的に「何ができるか」「何をすべきか」が明確になった。

地域版マンガラが、取組やプロジェクトの根拠に

### ▶ 異分野・異業種交流による具体的プロジェクトの創出

ステークホルダー自身が、地域版マンガラと向き合い、官民の役割を明確にした具体的プロジェクトの創出に至った。

## 【新たに見えてきた課題】

### ▶ 活動団体の変更に伴う視点の広域化

地域全般に対する視点の広がりや、産業分野のステークホルダーにとって、自社の範囲を超えた視点での議論が必要で、異なるセクターとの対話の場を更に経験することが重要である。

### ▶ 地域への落とし込みや認知・理解

地域循環共生圏づくりは、ステークホルダーの一部の人だけで作り上げているものではなく、地域全体が共感し、同じ方向を向いた活動の環を広げられるか。

### ▶ 地域プレイヤーの活動の継続性

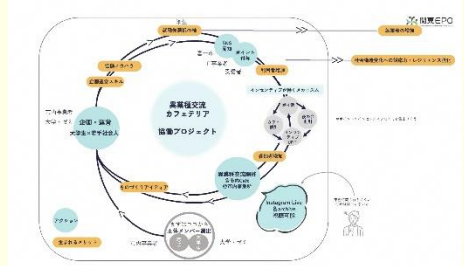
地域の持続可能性に向けた自立・自主的な活動、プレイヤーの熱量や新陳代謝、行政のサポート・役割など、継続的・持続的な活動に繋がられるか。



# 活動における今後の展望

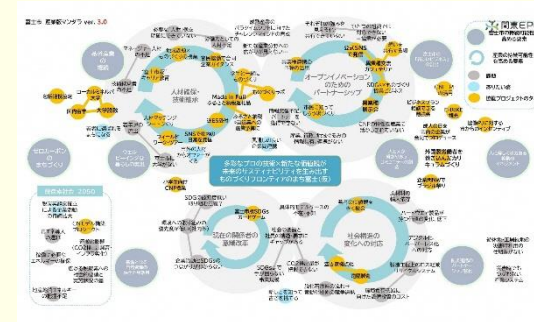
## ▶ 異分野・異業種協働プロジェクトの実装（事業化）

- ✓ 富士市の産業構造を活かした「異業種交流カフェテリア事業」「ものづくりラボ事業」を実現
- ✓ 行政は事業実施のための場・環境を整備し提供
- ✓ 事業を通して成果を生む（ヒト・モノ・コト・カネなどが循環する事業）



## ▶ 富士市ローカルSDGsマップのブラッシュアップとプロジェクトの創出

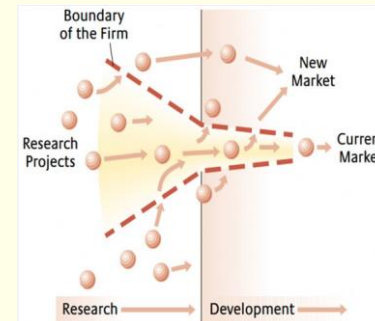
- ✓ マンダラを作成したことで終わらないようにする
- ✓ 新たなステークホルダーを加え、新たな視点を取り込む
- ✓ マンダラをベースにしたプロジェクトを生み出す



バージョンアップ

## ▶ オープンイノベーションスタイルの浸透・深化

- ✓ 自社や単独では成し遂げられない
- ✓ パートナリシップを構築し、強みや弱み、技術やノウハウ等を持ち寄り課題を解決
- ✓ 取組を可能とするオープンプラットフォームの構築



地域内イノベーションを創出